

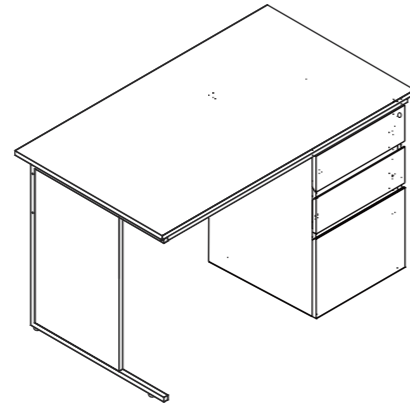
片袖用キャビネット 取扱説明書

組立部材一覧

■お買い上げありがとうございます。
組み立て前に組立部材一覧をご確認ください。

部材名	①キャビネット	②十字穴付きJねじ (M6×30)
部材		
数量	×1	×4
		③鍵
数量		×1組

■ワークデスク(別売)を組み上げた後に
取り付けてください。



注意

- プラスドライバーをご用意ください。
- 手を切らないよう軍手をして組み立ててください。
- 指を挟まぬよう気を付けてください。
- 作業するときは柔らかい布を下に敷いてください。
- ねじの締め付けは十分に行ってください。
- 組み立て中に横から無理な力をかけないでください。
- 電動工具は使用しないでください。

取扱上の注意

ご使用時にこの取扱上の注意をお読みになり正しくお使いください。
またお読みになった後は、大切に保管してください。

1. 安全のために必ずお守りください。

- 積み重ねて保管しないでください。倒れてけがをすることがあります。
- 外周部に片寄って重い物を載せないでください。倒れてけがをすることがあります。
- 火器のそばに近づけて設置しないでください。火災になることがあります。
- 耐荷重以上のものを載せないでください。破損の原因となります。
- 各部のねじ類がゆるんだ状態で使用しないでください。破損や転倒することがあります。必ず増し締めをしてください。
- 異常を発見したらそのまま使用せず、販売元に相談してください。破損や倒れてけがをすることがあります。
- 商品に乗ったり腰をかけたたりしないでください。倒れてけがをすることがあります。
- 用途以外には絶対に使用しないでください。思わぬ事故が発生することがあります。
- 分解や改造をしないでください。破損やけがをすることがあります。

2. ご使用上の注意

- 直射日光・暖房器具などの高熱を避けてください。変色・変形することがあります。
- 湿気の多い所に設置しないでください。腐食・変色・変形することがあります。
- 板面に硬いものを落としたり、ぶつけたらしないでください。破損することがあります。
- 加熱した鍋や沸騰したヤカンなどを直接置かないでください。
- 水などをこぼした場合は放置せず放置速やかに拭き取ってください。

3. お手入れ方法

- 汚れを落とす場合は、から拭きするか固く絞ったぬれぞうきんで拭いてください。
 - 汚れのひどい場合には薄めた中性洗剤で拭いてから固く絞ったぬれぞうきんで拭いてください。
- ご注意: シンナー・アルコール等の使用は避けてください。変色・変形や塗装がはがれる場合があります。

4. お問い合わせ先

オフィスコム株式会社

TEL: TEL:0120-535-789
東京都千代田区神田小川町 1-1 山基ビル 4階

品質表示

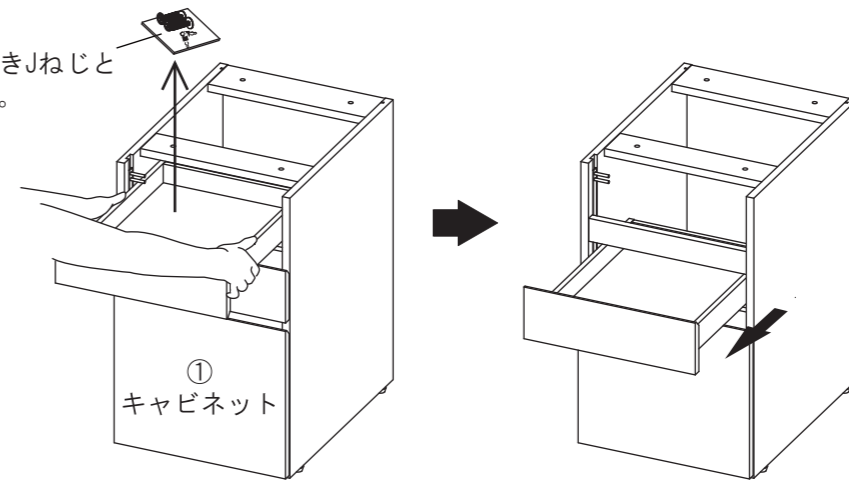
■品名	片袖用キャビネット	■材質	本体: 合成樹脂化粧パーティクルボード (メラミン樹脂)
■品番	Z-LWC-WH(NA,DB)3/	■外形寸法	W430 D498 H682
■耐荷重	上段・中段 約15kg(均等荷重) 下段 約20kg(均等荷重)		

MADE IN CHINA
20170105

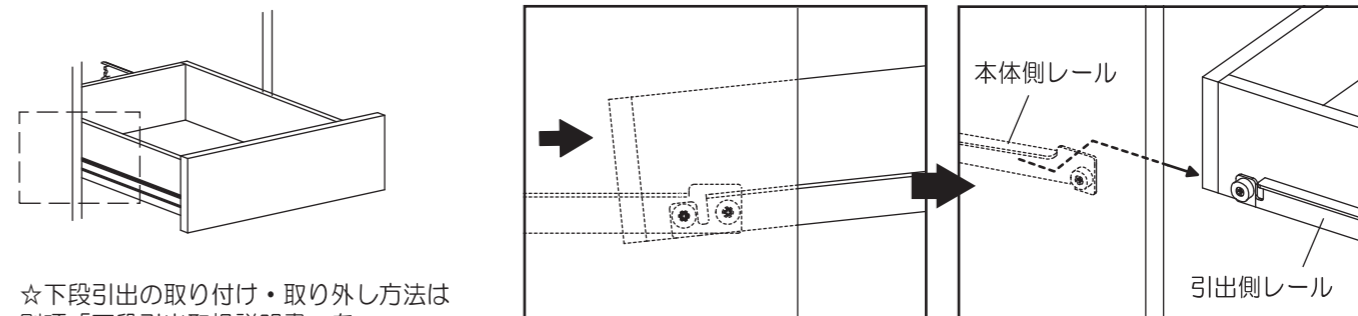
1. 引出の取り外し

- ①キャビネットから②十字穴付きJねじと③鍵を取り出し、鍵を開けてください。
- 次に、①キャビネットから上段と中段の引出を取り外します。
- ※取り外し方法は、次の項目の「上段・中段引出の取り外し方法」をご確認ください。

最上段に②十字穴付きJねじと
③鍵が入っています。



上段・中段引出の取り外し方法



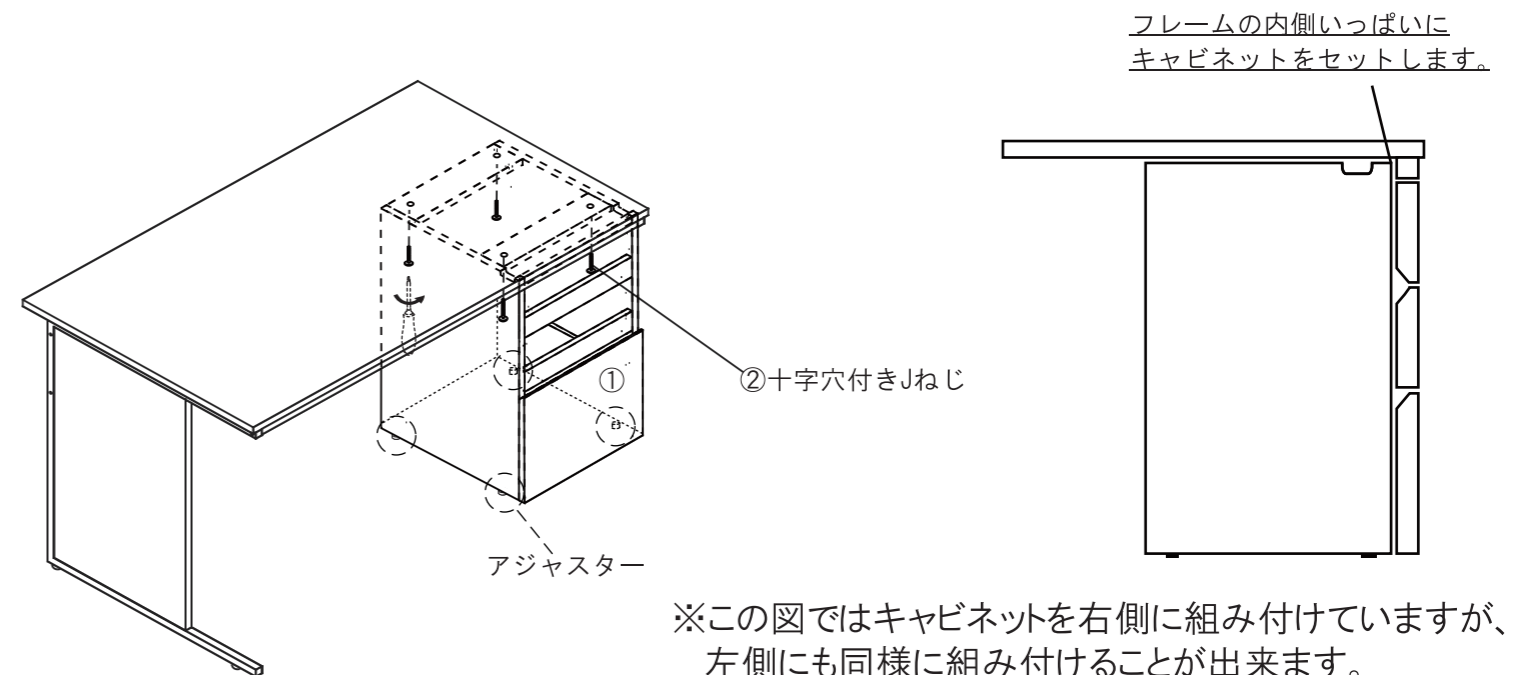
☆下段引出の取り付け・取り外し方法は
別項「下段引出取扱説明書」を
ご参照ください。

引出を最大まで手前に引きます。

引出の手前を持ち上げながら
引き抜いてください。

2. ワークデスクとの接続

- ワークデスクの天板を少し上げ、①キャビネットを中へ入れます。
- 次に右図のように天板下のフレーム内側いっぱいキャビネットをセットし、①キャビネット底面のアジャスターを調整して、天板とぴったりくっつけます。
- その後、ワークデスクと①キャビネットを②十字穴付きJねじで組み付けてください。

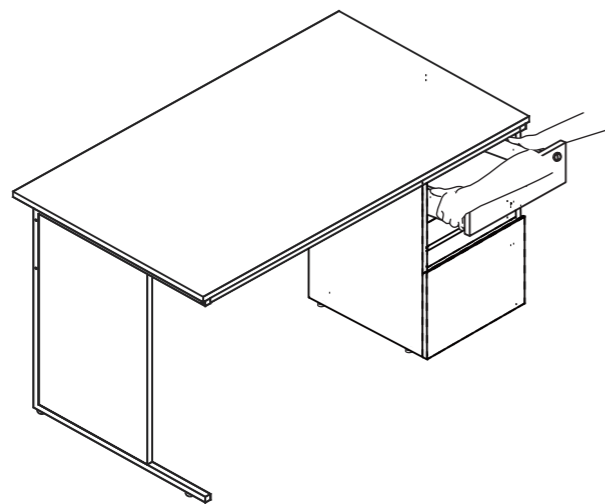


フレームの内側いっぱい
キャビネットをセットします。

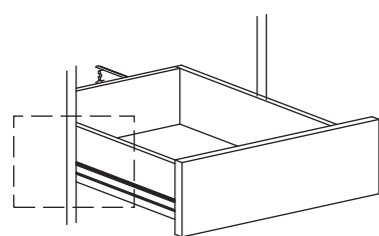
※この図ではキャビネットを右側に組み付けていますが、
左側にも同様に組み付けることができます。

3.引出の取り付け

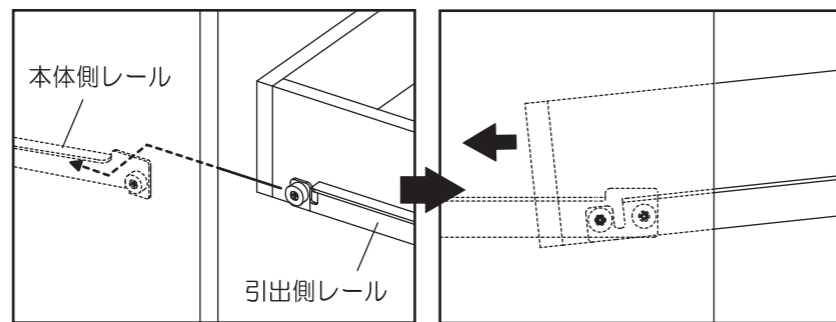
■工程1で取り外した引出を取り付けてください。
 ※取り付け方法は、次の項目の「上段・中段引出の取り付け方法」をご確認ください。



上段・中段引出の取り付け方法



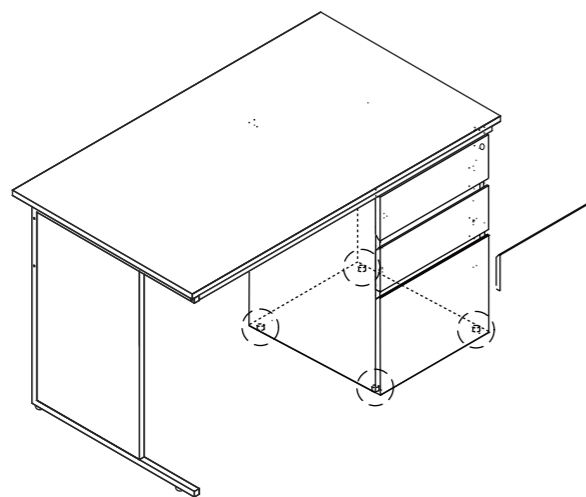
☆下段引出の取り付け・取り外し方法は別項「下段引出取扱説明書」をご参照ください。



引出側レールを本体側レールにのせるようにして差し込みます。そのままゆっくりと閉めてください。

4.アジャスターの調整

■天板と床が水平になるように、再度、底面のアジャスターを回して調節をしてください。

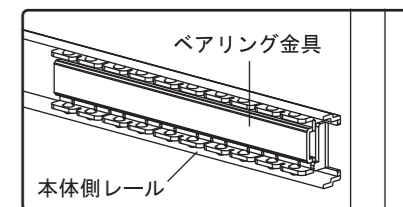


床に接地していないアジャスターを回してガタつかないように調整してください。

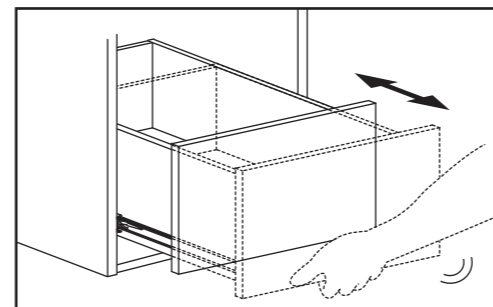
下段引出 取扱説明書

引出が開閉しづらい場合

購入時、または寒さ等で引出のレール部分に塗布しているグリス(潤滑剤)が硬くなって引出が取り出しにくい場合があります。(グリスはベアリング金具部分に塗布してあります。)その際の対処法をご紹介します。

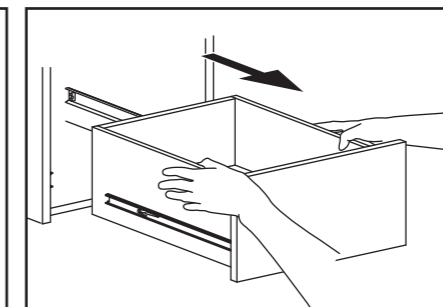


手順1



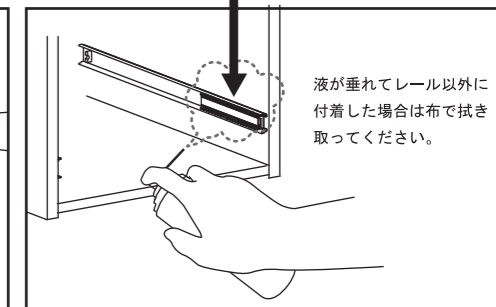
引出を前後に数回動かしてください。これだけでもグリスが柔らかくなって引出の硬さがなくなります。

手順2



手順1を試しても硬い場合は、引出の取り外し方法を参照し、引出を取り外してください。

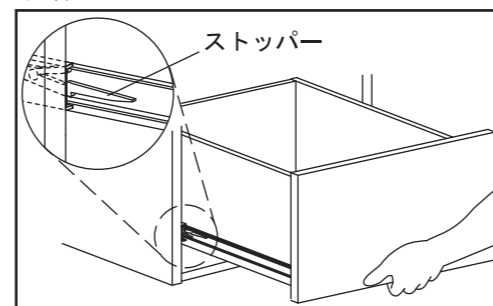
手順3



凹凸部分に市販の潤滑スプレー(潤滑剤)を挿します。その後、引出の取り付け方法を参照し、引出を取り付けてから手順1を繰り返してください。

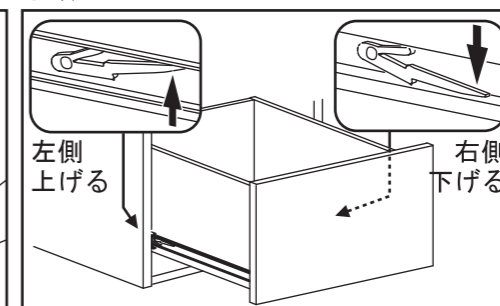
引出の取り外し方法

手順1



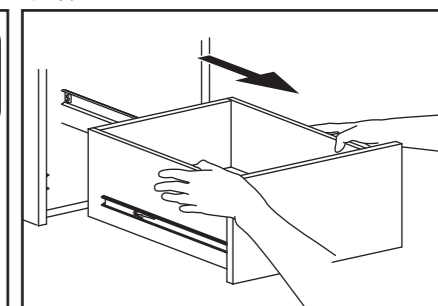
ストッパーが見える所まで引出を引きます。それ以上無理に引き出すとレールが破損しますのでご注意ください。

手順2



左側のストッパーの先端を上げた状態で、右側のストッパーの先端を下げながら、引出を取り出してください。

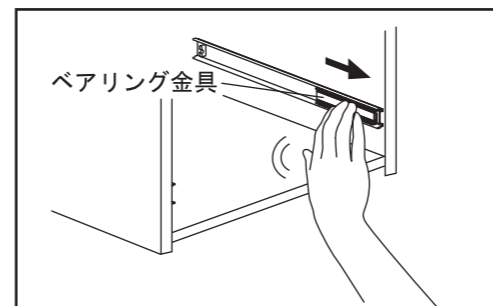
手順3



両手で水平に引き出してください。

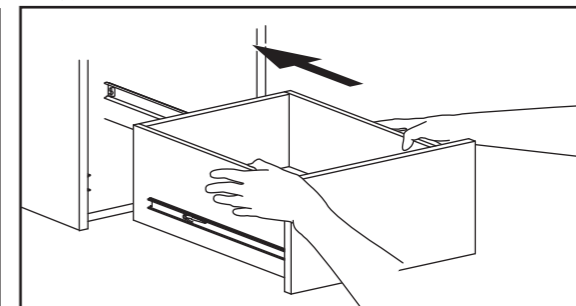
引出の取り付け方法

手順1



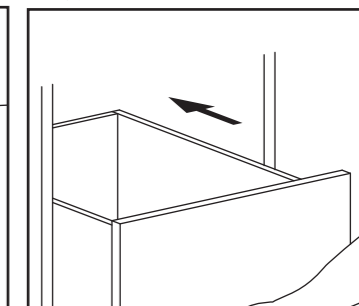
引出を入れる前に、必ず、左右レールのベアリング金具が手前に来ていることを確認してください。

手順2



引出側のレールが本体側のベアリング金具にはまるように差し込んでください。

手順3



引出を押し込む時、途中で一旦止まりますが、さらに最後まで押し込んでください。